

プロジェクトA Tokkatsu ディプロマの共同開発 エジプトでの現地調査（2023年12月25日～30日）報告書

瀬戸口暢浩（株式会社パデコ）

1. Tokkatsu 指導員認定制度（TTCS）

エジプト版特別活動（Tokkatsu）のディプロマ・プログラムの前進となる取り組みとして、Tokkatsu の指導員認定制度が挙げられます。2020年頃から始まったもので、エジプトの指導員が教員の授業を参観し事後に助言指導する様子を、日本とエジプトの有識者を委員とする合同委員会が、共通の評価ツールを用いて評価するものです。これまで22人のエジプト人指導員が認定を受けました。

今回の現地調査の中で、過去に同制度に関わっていた一部の調査団員が、2023年12月26日（火）に作業に協力しました。エジプト国立大学教育学部から教員が新たに評価委員に加わったことから、それらの委員に評価ツールを用いて評価してもらい、全員のメンバーの評点を比べて平準化するという手続きでした。今回利用された評価ツールは、この後、エジプトの新委員やエジプトに滞在する日本人関係者が、より詳細なルーブリックを作成し、実際の指導員評価で利用される予定です。

	
学級活動（2）の公開授業	指導主事による教員への助言指導
	
評価委員による聞き取り	評点平準化会議

2. 日本科学技術大学でのイベントの成果

2023年12月27日(水)の午前中は、エジプト日本科学技術大学、エジプト国最高大学評議会教育学部委員会、エジプトの複数の国立大学教育学部の関係者、エジプト教育技術教育省エジプト日本学校プロジェクト管理運営部、日本特別活動学会などが参加する合同イベントが開催されました。日本と協力して高等教育段階で工学を中心とした教育と研究を進めるエジプト日本科学技術大学と、初等教育段階で特別活動を中心とした教育を進めるエジプト日本学校とが、共にその成果を発表する初の機会となりました。次に、日本で言えば中央教育審議会に相当するエジプト最高大学評議会からは、エジプトの大学教育学部で進む教員養成課程改革などの動きが発表されました。加えて、教室で実務に携わる、エジプト日本科学技術大学の教員、エジプト日本学校の教員、エジプト版の特別活動の指導員らからの発表も行われました。

さらに、コーヒー・ブレイクの時間を利用して、エジプト日本科学技術大学学長先生、エジプト国最高大学評議会教育学部委員会委員長先生と面談を持ちました。その協議結果は議事録にまとめられ、署名を行いました。次が議論の主な点でした。

- 今回集まった関係者からエジプトにおける Tokkatsu の振興への協力に関心が示された。
- エジプト日本科学技術大学は、エジプトにおける Tokkatsu の振興のため、関心を有するエジプトと日本の大学や学術団体のハブとなる。
- エジプトと日本の双方の関係団体がフォーカルパーソンを設置する。
- エジプト日本科学技術大学とエジプト最高大学評議会教育学部委員会は、エジプトのエデュケーション 2.0 により新しく導入された Tokkatsu という教育活動を維持する必要があること、そのため教員養成においても喫緊の需要に応えるため、エジプトでの Tokkatsu ディプロマ・プログラム開発が必要であることに言及した。
- それに対応するための両国の関係者がコンソーシアム形成を目指す。

午後には、午前中の発表を受けて、Tokkatsu のエジプトでの成果について当事者らに直接質問するグループディスカッションが4部屋に分かれて行われました。

さらに、いくつかのエジプトの国立大学教育学部の参加者も加わって、ラウンドテーブル協議が持たれました。その中で得られた情報は次でした。

- エジプト側が希望するディプロマ・プログラムは、英国等に存在する現職者向けプログラムに近く、日本の大学学部での教員養成課程とは異なる。
- イメージとしては2022年まで日本に存在した免許更新講習に近い。
- エジプトでは、4年制の別学部を卒業した者が教員になるために、追加で取得が必要な単位の修得プログラムでもある。
- 同プログラムは日本の大学の授業で言うと2単位程度である。
- 日本の履修証明制度よりも小規模である。
- 日本の現職教員向けエクステンション・プログラムよりも小規模である。

	
<p>午前中の発表</p>	<p>議事録への署名</p>
	
<p>ラウンドテーブル協議</p>	<p>グループディスカッション</p>

3. EDU-Port プロジェクト日本式公民館の訪問

2023年12月29日（金）には、エジプトにおける EDU-Port ニッポンの先輩プロジェクト「エジプトにおける教育イノベーション創出事業～日本式公民館の運営および社会教育の学びを通じて～」を実施した、ギザ県のター公民館を訪問しました。アラブの春を経験したエジプトで若者の社会参画を促進するという、大きな目標を掲げて活動していることを知りました。日本語、アニメ、けん玉など、日本につながる技術やモノを利用した若者の活動が試みられていました。

	
<p>ター公民館訪問の様子</p>	<p>ター公民館の FB 上での紹介</p>

<https://www.facebook.com/eg.kominkan/posts/pfbid022xs1RFQsUc43HVg1BBbFTr2Jw7eBjx1KghBzkbBBKwMkpZ09vrYfp13J1XwJDSmnl>